

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 03 安全で安定した水の供給

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	安全な水道水が供給されている割合(日数ベース) (%) 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		100	100	100	100	☀ (向上)
評価	水質についての日常及び定期検査において基準値を超える異常値がなく、安全な水道水を供給することができた。					対 前年度
						☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

指標	水道水供給事故回数 (回) 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	広範囲(100世帯以上)において水道水の供給に支障が出るような大規模な事故はなかった。					対 前年度
						☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 健全な上水道経営の推進

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	総収支比率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		【上水道課】	103.55	122.4	121.0	100以上
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1.4ポイント減少した。これは、配水及び給水費の人件費の増加による費用の増加が要因の一つとして考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						🏰 (達成)

基本事業02 健全な上水道経営の推進

指標	資金不足比率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		【上水道課】	-	-	-	-
評価	資金不足比率は、資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示す比率であり、経営状態の悪化の度合いを示すものである。平成30年度は、流動負債の額が流動資産の額を下回っており、資金の不足額はない。					対 前年度
						(比較不可)
						🏰 (達成)
						(---)

基本事業03 水の有効利用の促進

指標	一人一日平均給水量（ℓ）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		【上水道課】	284	280	281	284
評価	(状況) (原因) 前年度に比べ、実績値（H30）が1ポイント減少した。これは、昨年度の猛暑による水利用の増加が要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						🏰 (達成)